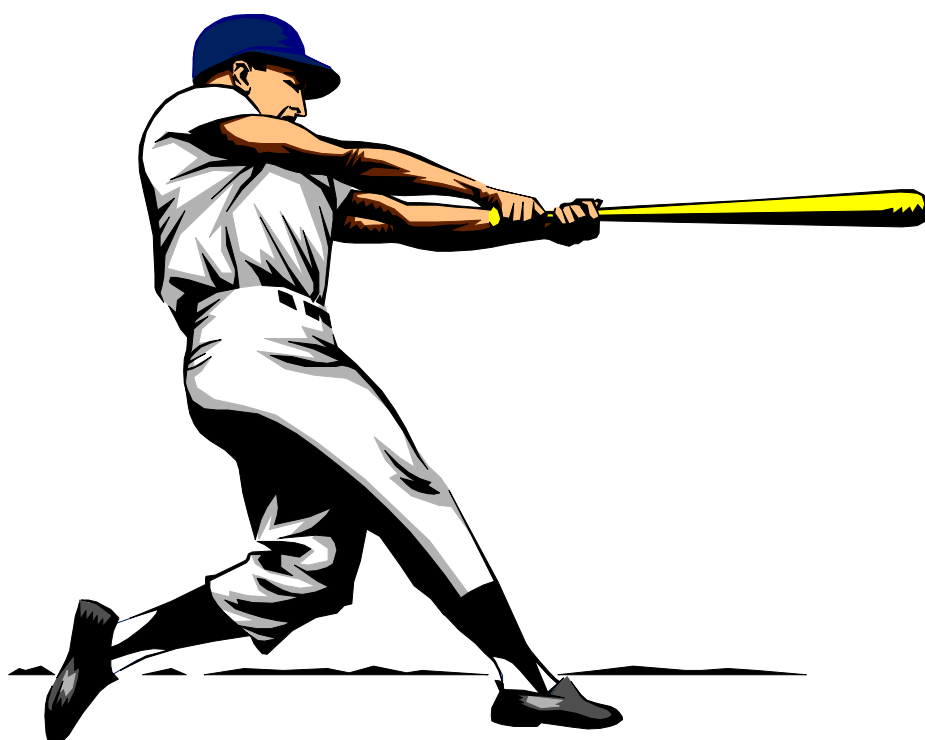


平成18年9月10日発行
名古屋ウエスタズ
Vol.71

月刊ウエスタズ



平成18年9月号

はじめに

夏休みも終わり、合宿も終わり。夏も終わりに近づいてきました。

皆さん夏休みは楽しく過ごせましたか。

まだまだ、野球のシーズンは終わりではありません。季節の変わり目は体調を崩しやすいのでこれからも体調管理には気をつけてしっかり野球に力を入れていきましょう！

選手紹介

このコーナーでは、これから入団する新入団員の紹介をいたします。

チーム	学年	氏名	学校名
B	5	佐藤 旭	苗代

合宿を終えて

各チーム監督・

コーチより一言

『100本ノック2回・素振り連続700本の猛練習』

Aチーム 藤井監督

今年の合宿は、大変暑い3日間でありましたが、たくさんの方々の協力を得て、所期の目的を達成して無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

合宿にあたっては、選手それぞれ目標、課題をもって自主的にやるように指示しました。

『人と同じことをしては勝てない。』

これだけやったという裏付けが、自信と成る。』
とにかく練習あるのみです。

合宿1日目

恒例の100本ノックは、参加していただいた松尾前監督、丸山コーチ、OB先輩から厳しくやってもらいました。特に、キャッチャー道具をつけての100本ノックを受けた中島は、ハードでした。

夕食後の素振りも大変ハードでした。1時間休みなしで実に700本振りました。一人も音をあげずに全員700本振りました。正直言と、こんなにみんなが頑張るとは思いませんでした。

合宿2日目

石川前監督に参加していただきました。そのせいか、みんな一日中よく声が出ていました。特に、中島、吉田はよく声を出していました。夜のゲーム大会は、大変たのしかったです。

合宿3日目

猛暑の中、また100本ノックをやりました。さすがにみな参ったみたいでした。なかでも、田代が必死にボールを追いかける姿が印象的でした。

子供たちにとっては、この合宿の3日間、大変きびしい練習でしたが、全員よく最後まで頑張りました。また、大変いい思い出になったと確信しております。

監督、コーチ、OB先輩、そして、お母さん方、大変ありがとうございました。

記録会のベスト3

ベースランニング

1位	藤田弘満	16.4秒
2位	大谷健人	16.7秒
	谷口祐太	17.3秒
3位	谷口祐太	16.8秒
(昨年)	大谷健人	17.2秒
	谷口祐太	17.3秒
	吉田颯人	17.6秒

遠投

1位	谷口祐太	73メートル
2位	藤田弘満	65メートル
3位	中島佑斗	64メートル
(昨年)	谷口祐太	67メートル
	中島佑斗	58メートル
	浅見祐介	58メートル

監督賞

合宿で、その日に一番頑張った最優秀選手を選び、監督賞を渡しました。

1日目	舌間慶太	もくもくと一生懸命頑張りました。
2日目	中島佑斗	大きな声を出して頑張りました。
3日目	田代裕介	100本ノックでは、必死にボールに飛びつきました。
総合	大谷健人	キャプテンとして皆を良くまとめました。

追伸

8月27日(日)に中京高校野球部の大藤監督がウエスタンズの練習を見に来ました。フリーバッティングの最中でしたが、そのうちネットの後ろから右に打てとか声をかけていました。良い選手がいると感心して帰って行きました。

この中から甲子園に行くような選手が出ると良いですね。

夏合宿を終えて Bチーム広田コーチ

みなさんいつも野球を一生懸命頑張ってますか？ もちろん頑張ってますね！！頑張って努力すれば必ずいつかいい場面で打ったり、走ったり、バントを決めたり、凄いファインプレーが出来ると信じて頑張り続けましょう。絶対そうなると私も思います。

さて、毎年恒例のウエスタンズ合宿ですが、私はウエスタンズ最大のイベントだと思います。まあ色々ウエスタンズには卒団式や納会、年始など色々ありますが、私自身毎年必ず都合をつけて何とか参加したいと思っているのが合宿です。なぜなら一番子供達の私生活や、低学年、高学年のコミュニケーションはもちろんの事、野球や親コーチの親交など色々な意味でいい三日間になる夏合宿じゃないかと、5年前の私の長男、次男の時の合宿で感じました。特に最終日恒例の100本ノックなんかは選手自身の今までの通常練習では見たことの無いような子供の能力の未知な部分を見れたり、最後までボールにくらいつく姿なんかは私にとってもうたまりません。なんかそういう事が野球のキャッチボールにもひけをとらない原点のような気がしてなりません。

へたくそでも、凄くうまく取れる子でも一生懸命やっている姿が目には焼きついてノックの最後の方にコーチが「声を出せ！！」選手が「さあこい！！」こういう姿が強い子供、強いチームになると思います。

さて、今年のBチームの合宿ですが、たくさんの17期生のOBやたくさんの親コーチ、もちろん小川原監督、梅村コーチの出席で充実したいい合宿だったと思います。

いつもの通常練習ではなかなか出来ない班分けをして別メニューで守備やバント、バッティングなど全員が平等に同じ練習メニューがこなせた事が大きかったと思います。

合宿以外でもいつもこれだけのグラウンドとOBやコーチが出席できればいいなと思いました。ま

た夜の宿舎では「まじめ」！？なコーチ会議の後の、あの梅村コーチと小川原監督の独演会などもうビデオにとっておきたかったぐらい凄い漫才でした「ハハハ笑！！」(^_^)(^0^)^ まあこんな感じで合宿を終えてBチーム選手の諸君は後もう一年後には最後の夏合宿になります。それまでもっともっと凄い合宿になるように頑張りましょう！

さて、最後に一言(ちょっと長いですが)一番Bチームに言いたい事はどうすれば野球を覚えることが出来るのか？

野球は声を出すまた一番大事な声の指示をしなければならぬスポーツです。(小川原監督の言葉)試合に出てようが、ランナーコーチやベンチの選手でも全員で声の指示が出れば、こんなチームは相手にとって凄く脅威になるはず。また指示の声が出るということは試合でピッチャーが投げる球、バッターが打った打球、ランナー状況など一球に集中してなければ指示の声が瞬間に出ません。

また指示の声がその瞬間に出るようになれば次に何を相手チームが仕掛けてくるか、そういうことを考えたり出来ます。それが野球の楽しさに必ずつながるようになるはず。です。

「声を出す」=「声の指示」=「野球をおぼえる」=「野球の楽しさ」=「野球がうまくなる」=「勝つ野球」=「強いチーム」 こんな感じでつながるような気がしてなりません。それが強い選手また強いチームになるはず。とにかくしっかりと声を出し、今のウエスタンズの少年野球を最後までやりとげて合宿に限らず、たくさんの試合や練習でいい思い出を作れるように頑張りよう！！

Cチーム 坂口コーチ

臼井代表、藤井総監督、小川原監督、河倉監督、井上コーチ、日頃よりご尽力頂き誠にありがとうございます。今合宿所でのお世話やレクレーションにて、Aチームの母方には本当にお世話になりました。Cチームの母方サポートご苦労様です。親コーチの方々お疲れ様でした。選手諸君、3日間の合宿は楽しかったですか？きつかったですか？色々感想があると思いますが、先輩後輩との生活や厳しい練習を乗り越えた事は、貴重な経験だと思います。団体生活の中で、年上を慕い年下の面倒を見る事が出来たのだから、普段の生活に戻っても野球はもちろんの事、人としてもウエスタンズのモットー5カ条を心がけてください。

Cチームの選手へ、きつい合宿を乗り越えて最後まで弱音をはかなかつた君達は、きっと合宿前よりは上手くなったし強くなったと思うので自信を持って下さい。特に2、3年生は年上の選手と同じメニューをやれた事はすごいと思います。ただ、最後の100本ノックだけは、少しがっかりしました。自ら声を出せない事や全員ではないですが遠くのゴロは最初からあきらめる選手が多かったと思います。特に4年生、君達の姿を下級生は見てますよ。手本となれる様頑張りましょう。今合宿にて、歴代の監督やコーチにピッチングやバッティングを見て頂き、選手達にとっても初対面の人からの指導は刺激になるのかいつも以上に真剣に取り組んでいた感じました。頂いたアドバイスも、確信出来た点や改めて気付かされた点があって是非今後に活かしたいと思います。今回OBと一緒にノックの守備に入ってくれた事で、姿勢や足の運び方、クラブを出すタイミングなど選手にとって「見て学ぶ」機会がありました。レベルも体格も違いますが、監督やコーチが10回説明するより選手達の理解は早いと思います。これまで以上にA・Bチームの練習の見学や支障の無い範囲で一緒にやる事が出来ればありがたいです。先日もBチームにお願いしてシートノックに参加させて頂きました。上級生にとっても下級生の前でカッコ悪いプレーは見せられないし、投げる相手が小さければ少し丁寧に投げる等互いに刺激になると思いますが、如何でしょうか？毎朝のAチームの素振りを見て、タイミングの取り方や一人として乱れぬスイングは素晴しかった。私の方が刺激を受けて早速「シンクロ」や「うねり打法」の本を読み感銘を受けました。是非、今後も伝統ある我チームの良い所を伝えて頂き、子供たちの内面の成長を願うと共に、1つでも多くの価値ある勝利を一緒に経験出来ればと思います。

最後に、体が硬い選手が多いです。ケガの防止だけでなく、将来の伸び具合にも影響すると思いますので、家庭でも柔軟体操を毎日欠かさずやる様に言って下さい。それと日頃仕事の都合で来れないお父さん方、時間の許す範囲で良いので練習を見に来てやって下さい。子供たちの目の色がはっきりと変わり、俄然やる気をだしますのをお願いします。

8月の成績

Aチーム

H18.8.5(土)

名古屋市スポーツ少年団 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
亀の子クラブ	0	0	0	1	0	0		1
ウエスタ ンズ	2	0	0	0	2	×		4

H18.8.6(日)

東海団地(夏) 準々決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
坂下スポ ーツ少年 団	1	0	1	0	0	0		2
ウエスタ ンズ	2	0	2	0	0	×		4

H18.8.26(土)

名古屋市スポーツ少年団 2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	3	1	0	6				10
昇友クラ ブ	0	0	0	0				0

H18.8.26(土)

デポ杯 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
中京ドリ ームス	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエスタ ンズ	0	1	0	0	0	2	×	3

H18.8.27(日)

練習試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
守山レッ ツ	0	0	0	0	2			2
ウエスタ ンズ	0	0	0	0	1			1

H18.8.27(日)

練習試合 2試合目

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタ ンズ	2	1	1	0	0			4
守山レッ ツ	0	0	0	0	0			0

Bチーム

H18.8.6(日)

デボ杯 1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタンズ	3	0	0	0	2			5
安城少年ドラゴンズ	0	0	0	0	0			0

H18.8.6(日)

しらさぎ教育リーグ決勝トーナメント2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
ウエスタンズ	2	0	0	0	0			2
大里東コンドルズ	3	0	0	2	×			5

H18.8.27(日)

デボ杯 2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
守山ボーイズ	0	2	3	0	0	3		8
ウエスタンズ	0	1	0	0	0	×		1

Cチーム

H18.8.5(土)

しらさぎ杯教育リーグ 第5戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
大安クラブ	0	3	5	3	1			12
ウエスタンズ	0	1	0	0	5			6

試合結果のまとめ

Aチーム

名古屋市スポーツ少年団 3回戦進出

東海団地(夏) 準決勝進出

デボ杯 2回戦進出

練習試合 1勝1敗

Bチーム

しらさぎ教育リーグ 決勝トーナメント2回戦敗退

デボ杯 2回戦敗退

Cチーム

しらさぎ杯教育リーグ 1敗

9月の試合予定

Aチーム

平成18年9月2日(土)

赤松杯(秋) 1回戦

対戦相手:トラッド長久手

平成18年9月2日(土)

イチロー杯 4回戦

対戦相手:名古屋ドジャース

平成18年9月3日(日)

中京少年 1回戦

対戦相手:有松ジュニアーズ

平成18年9月3日(日)

デボ杯 2回戦

対戦相手:水源パイレーツ

平成18年9月9日(土)

東海団地(夏) 準決勝

対戦相手:未定

平成18年9月

対戦相手:未定

Bチーム

平成18年9月2日(土)

練習試合

対戦相手:長久手少年野球クラブ

平成18年9月3日(日)

中京少年野球 1回戦

対戦相手:少年瑞穂

平成18年9月16日(土)

愛球リーグ

対戦相手:南部少年野球

平成18年9月24日(日)

ゲオ杯 開会式

会場:瑞穂球場

日程未定

スポーツ少年団 1回戦

対戦相手:チーターレンジャーズ

日程未定

しらさぎ旗

対戦相手:春日少年野球

Cチーム

平成18年9月2日(土)

しらさぎ杯 決勝トーナメント1回戦

対戦相手:木曾川JBC

Aチーム母コメント

森田母

3年生からお世話になり、4年目となりました

た。今年は、7月末にマイクロバスで伊勢まで、初めて県外遠征を経験させて頂き、朝5時から夜7時過ぎまでの厳しい一日でしたが、全員元気に戦い、遠征を楽しみました。チームの皆様にご温かく送り出して頂き感謝しています。

8月の合宿では、部屋長としてB、Cのチーム員をまとめていく、という責任を果たすことができました。野球の技術だけでなく、毎年引き継がれていくウエスタンズの行事を通して、先輩を見ながら学び、後輩の面倒をみるまでに成長していった皆を、とてもうれしく思います。

Aチームはあと半年ですが、怪我のないよう思いやりプレーして下さい。

ところで、野球を通して思う事は、元気に前向きに取り組んでいる子の親は、やっぱり一生懸命努力しているということです。たとえグラウンドに来れなくてもどこかでがんばっておられます。そういう大切なことを、代表や監督、たくさんのご父兄に教えられ、有難く思っています。

藤田(和)母

毎年夏休み主人が在宅中、朝は大リーグ、昼は甲子園、夜はプロ野球と一日中テレビは“野球”に占領され、私にとっては雑音にしか聞こえませんでした。ところが、和良が3年生の春に主人から「野球チームに入るから！！お茶当番頼むね！」と一方的に言われ「えっ！和良野球出来るの？お茶当番って何？誰がやるの？」“野球”が自分の生活に入ってくるとは夢にも思いませんでした。あれから3年半の月日が経ち、よくここまで続いたなあー（私も含め）というのが実感です。監督・コーチの皆さんの熱血指導により少しずつ試合に出して頂き、ヒット・ホームランを打つと本人も達成感や充実感で自信が持てるようになり、私も試合の応援、同時に和良の成長を楽しく見守ることができました。これも監督・コーチ方々の叱咤激励、他の選手との良い繋がりのお陰と大変感謝致しております。あと半年を切りましたが、もっと前向きにそして積極的に悔いが残らぬ様に野球を楽しんで欲しいと思います。

今夏は私も高校野球を観戦しました。和良にも早実の斉藤投手を見習い今後ハンカチを持たせようかなと考えています。

Aチームの皆さん、残り少なくなりました“名古屋ウエスタンズ”での貴重な時間を共有し生

涯の糧となるよう全力で頑張ってくださいませう！

吉田母

「次はスクイズの練習！」っていうから、どんなのが楽しみに待っていたのに、クイズは一個もでなかったしい・・・って帰ってきたのは、入団直後の小3の颯人。

その頃の目標は、「卒団まで野球をがんばること！」ウエスタンズの優秀な選手達の中で野球を続ける事ができたら「卒団式までよくがんばったね！」って、いっぱい褒めちゃうだろうな、と思っていました。

けれど、皆様に温かく鍛えていただいたおかげで、颯人は卒団の目標など軽く飛び越えて、たくましい野球少年へと成長しました。チームのメンバーにも恵まれて、夢中になって白球を追っています。

中学生になれば、私が颯人と一緒に っことは少なくなり、颯人はどんどん自立していくと思います。ウエスタンズは、我が子と一緒に行動できる最後の機会になるようです。

あと半年、ウエスタンズの少年達を、力いっぱい応援し、楽しんでおきたいとおもっています。

来月号にまた「ウエスタンズに聞きました」を掲載する予定です。選手の皆さん、ご協力よろしくお祈りします。

お知らせ

次回10月号では、Aチームコーチのコメント・母コメントを掲載する予定です。

ご意見ございましたら編集事務局までご連絡下さい。よろしくお祈りします。

編集事務局 梅村

編集者 田代・白木